

安全評価・認証の実務者が語る『機械安全と第三者評価・認証』

協賛(予定) 安全工学会, 安全工学研究所, エンジニアリング協会, 化学工学会,
軟包装衛生協議会, 日本電機工業会, 日本機械工業連合会,
日本金属プレス工業協会, 日本高圧力技術協会, 日本工作機械工業会,
日本食品機械工業会, 日本信頼性学会, 日本製パン製菓機械工業会,
日本非破壊検査協会, 日本プラントメンテナンス協会, 日本包装技術協会,
農業食料工学会, 腐食防食学会

開催日: 2016年2月5日(金曜日) 10:00~17:00

会場: 一般社団法人 日本機械学会 第1会議室 〒160-0016 東京都新宿区信濃町 35 信濃町煉瓦館 5階

主旨: リスクを受け入れ可能なレベルに低減させた機械を設計・製造することは機械メーカーの責務である。このために機械安全の安全要求の標準化が進められており、わが国でも日本工業規格(JIS)として発行されている。規格の要求に沿って機械が設計・生産されているかを客観的に確かめる方法として、第三者による評価制度があり、欧米では長年の実績がある。しかしながら、わが国では製造者による評価(第一者評価)及びユーザによる評価(第二者評価)に比べ、第三者評価が浸透していないのが実情である。
当講習会では、機械安全と第三者評価・認証の必要性とその意義及び第三者評価・認証を行う際に問題となる点を第三者評価・認証実務者により事例を交えて解説を行う。

司会: コマツ産機株式会社 事業企画部 畑 幸男

演題:

1. 機械安全・機能安全規格の最新動向と機械エンジニアのための機能安全事例		
午前開演		10:00~10:05
1)安全規格動向 機械安全・機能安全の最新動向	機械安全の国際規格エキスパートによる機械設計に関連する機械安全・制御安全・機能安全の最近の動向について分かり易く解説する。	10:10~11:00 テュフラインランド 杉田 吉広
2)第一人者が語る 機械エンジニアのための 機能安全事例	ISO 13849-1:2006 が発行されてから7年。欧州機械指令ではパフォーマンスレベル(PL)の表示が2012年から義務付けられ、機能安全の理解無しにはPLへの対応が難しくなっている。ここでは、機械向け機能安全規格 IEC 62061 原案策定時の元国際エキスパートが、機械・設備設計者向けに機能安全の要点を平易に解説する。CEマーキングを始めとする国際安全規格対応の要点がわかり、午後の講習「第三者評価の実務例」の導入編として最適な内容となっている。	11:00~11:50 富士電機 戸枝 毅
2. 第三者評価の実務例		
午後開演		13:00~13:05
1)ケース1: 機械安全	第三者評価や認証の申請に関するご相談事例や申請範囲や使用条件の捉え方の注意点、および、申請範囲や使用条件の違いが生じる適合性評価の違いについて事例を交えてご説明いたします。	13:05~13:55 ビューロベリタス 染谷美枝
2)ケース2: 機能安全	現状分析として、機能安全を導入する機械メーカー、製造販売するコンポーネント・メーカー、それぞれの導入形態について機械指令・整合規格を題材に理解する。2005年以降のIEC/EN 60204-1の変遷から始まった機能安全の積極導入とその背景について説明する。	14:00~14:50 テュフズード ジャパン 浅井由尚
休憩		14:50~15:05
3)ケース3: 電気安全	国内で使用実績のある電気機器が初めてのCEマーク対応または国外出荷対応時の典型的な指摘事例と対策事例を紹介します。実際の事例から国内向けと国外向けで安全に関わる電気電機設計コンセプトにどのような違いがあるのか解説します。	15:05~15:55 テュフラインランド フエンテス・アドリアン
4)ケース4: 北米安全	特に米国(カナダ)における機械・電気安全と第三者評価・認証について講義内容をご検討頂く	15:50~16:50 UL ジャパン 今村 康敬
質疑応答及びディスカッション		16:50~17:00

※事情により演題が変更となる場合もございます。予めご了承下さい。

定員：50名(定員になり次第締め切ります)

聴講料：会員及び協賛団体会員 5,000円(学生員 2,000円) 会員外 8,000円(一般学生 3,000円)いずれも教材1冊分代金を含みます。開催日の10日前までに聴講料が着金するようにお申し込み下さい。以降は定員に余裕がある場合のみ当日受付いたします。
聴講券発券後は取消のお申し出がありましても聴講料は返金できませんので、ご注意願います。

申込方法：申込者1名につき、下記よりお申込み下さい。

https://www2.jsme.or.jp/fw/index.php?action=kousyu_index

(産業・化学機械と安全部門 担当職員 櫻井 電話 (03) 5360-3505)